

# 市政を聞く 一般質問

12月定例会の一般質問は、8日、9日の両日行われ、14名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

## 一般質問発言通告一覧表

(平成15年第6回小浜市議会定例会)

通告者	発言の内容
池尾 正彦	1. 公立小浜病院高度医療施設整備計画について
山本 益弘	1. 舞鶴若狭自動車道について 2. 西街道について 3. 市の活性化対策について 4. 有害鳥獣駆除について
杓子 明	1. 平成16年度当初予算編成方針について 2. 新線（琵琶湖・若狭湾快速鉄道）について 3. 公民館運営について 4. 中間貯蔵施設について
清水 正信	1. 学校の統廃合、校区の再編と小浜小開校 2. 第3次行政第一段階（13～15年度）の検証
藤田 善平	1. 市町村合併について 2. 地場産業の振興について 3. 雇用対策について
垣本 正直	1. 市町村合併、嶺南1市実現の可能性について 2. 介護老人福祉施設の拡充について 3. 新しい青年団活動の育成について
下中 雅之	1. スロータウン連盟加盟と食育について 2. 少子化対策について 3. 色覚バリアフリーについて
深谷 嘉勝	1. 市町村合併について 2. 原発の使用済み核燃料貯蔵施設について
井上 万治郎	1. 公共下水道整備について 2. 構造改革特区の申請について 3. 農業構造改革について
山崎 勝義	1. 交通網の整備とまちづくりについて
三木 尚	1. 行政サービスの向上について 2. 小浜市の財政状況について 3. 原子力政策について 4. 交通問題
風呂 繁昭	1. 若狭小浜のブランド農産物 2. 雇用と財政 3. 学校教育環境 4. 小浜地区のまちづくり
宮崎 治宇蔵	1. 2004年度当初予算の方針について 2. 国民健康保険税の納期について 3. 「使用済み核燃料中間貯蔵施設」問題について 4. 30人学級の実現について
池田 英之	1. 市町村合併問題について 2. 「若狭路博」を活かしたまちづくりについて 3. 平成16年度予算編成方針について



池尾 正彦 議員

### 問

公立小浜病院高度医療施設整備計画の中で福井県当局と協議了解のうえに決定していた、三次救急並みの救命救急センター（治療および救急病床、合計四十三床設置）を平成十五年四月に国が創設した十床規模による新型救命救急センター事業に計画変更するよう検討を求められている事は心外である。そもそも、

### 答

当初計画の縮小依頼は遺憾である。県当局に了承を得ていた救命救急センターの赤字分全額支援を強く要望していく。嶺北との医療格差是正を要求。

### 問①

舞鶴若狭自動車道の地元問題の解決と地域振興の市道増設に関して市の考えを問う。また問題点は職員異動時の事務引継ぎにあるのではないか。



山本 益弘 議員

### 答

様々な問題点が発生しているが誠意を持って対応する。市単事業による用地買収

### 問②

西街道における条件整備実施の現状を問う。

### 答

地元区および地権者との約束は予算関係上多少の遅れがあるが履行していく。森川沿いの今富自歩専道線および今富三・四号線は平成十六年度着手する。

### 問③

市の活性化対策を問う。

### 答

若狭路博後の活性化策としては食のまちづくりを通じて行う。食のまちづくりは数十年かかる。食による各種施策を推進していくことにより活性化に寄与すると考えている。

### 問④

狩猟期間中のシカ駆除を問う。

### 答

今年度もメスジカ駆除許可を実施する。



杓子 明 議員

**問①** 平成十六年度予算編成方針についてその考えと健全財政対策の中で税収対策を伺う。

**答**

若狭路博での成果と経験を生かす施策を展開するためのソフト事業を重点とした予算編成をする。十六年度は起債償還のピークであり骨格的予算とし新たなハード事業に取り組まない。食のまちづくりを強力に推進する事業に重点をおく。新規税滞納者を未然に防ぎ、課税対象者の開拓にも取り組む。

**問②** 琵琶湖若狭湾快速鉄道の用途はどうか。市長は二期目の続投を考えているのか伺う。

**答**

滋賀県と同じ土俵に上がった時が目途と考えている。今は目途の目途がついた時と考える。課題を残しているので市民のご支援があれば続投したい。

**問③** 中間貯蔵施設誘致は食のまちづくりと両立できると考えているが市長の見解を再び伺う。リーダーシップを発揮せよ。

**答** 推進派、慎重派それぞれの意見を謙虚に拝聴している。小浜を思う気持ちは同じであり慎重に受け取っている。



清水 正信 議員

**問①** 新しい小浜小の建設規模は今の校区では六学年八教室、周辺地区の児童受入れは。

**答**

現在の校区の指定学校への通学となる。やむを得ない事情の時、指定学校の変更を申請し、教育委員会の許可が必要。

**問②** 小浜小建設と教育施設等検討委員会の統廃合、校区の再編の審議の成果と連動させ、未来を創っていくその担い手を育てる教育において、将来展望の中規模を求めるべき。

**答**

現時点では開校時の校区の見直しは考えていない。将来的には当然校区の見直しも考えていく。

**問③** 新しい小浜小建設が周辺の地域の学校に及ぼす影響は。

**答**

統廃合や校区の再編等

についても考えていく。

**問④** 祝祭日のごみ収集は。

**答**

十六年十月より実施を計画。

**意見**

市民サービスの向上効率化、職員の意識改革と育成の成果が見えない。民間企業の経営的発想で効率化、経費の縮減に積極的に取り組むべき。



藤田 善平 議員

**問①** 市町村合併方針を問う。

**答**

同じ南川流域にあり古くからつながりの深い名田庄村と話し合いを持ちたい。

**問②** 今後の琵琶湖若狭湾快速鉄道促進への影響を問う。

**答**

嶺南地域全体の振興を目的とする事業であり好ましくない影響を与えるようなことは一切ないと確信している。

**問③** 地場産業の振興策を問う。

**答**

伝統的工芸産業の厳しさを認識しており知名度を高

めるためのPRなど支援をする。農業においては有利に売れる米を生産するため乳白米の発生防止への生産者意識を高め遅植えや土づくりなどの徹底を図る。有害獣駆除については新年度には市所有の「オリ」の製作を考えており無償貸付けを行いたい。

**問④** 雇用対策を問う。

**答**

竜前企業団地などへの企業誘致にも努め、食のまちづくりを推進し雇用をはかる。

**問④** 雇用対策を問う。

**答**

竜前企業団地などへの企業誘致にも努め、食のまちづくりを推進し雇用をはかる。



垣本 正直 議員

**問①** 市町村合併、二〇一〇年嶺南一市実現の可能性について。

**答**

調査研究段階で嶺南一市に対する捕らえ方は各自自治体様々で今後論議が必要と考える。道州制が実施され自治体が再編成される段階での課題と思う。今は近隣との合併に全力を尽くしたい。

**問①** 教育の場において偏った食べ物怖さや体に良い食べ物への振り方を学べるような食育の推進はしているのか。

**答**

小浜市では食のまちづくり条例に基づき食の教育を積極的に推進している。学校給食の場を通して、より健全化が図ればと考えている。

**問②** 少子化対策として、不妊治療助成制度導入について

**答**

利用が多くなっている。現在特別養護老人ホームの入所希望待機者は市内の三施設で二九〇名で約半数が複数施設に申し込まれ、うち緊急を要する待機者は五〇名程おられる。観海寮と福寿園を若洲福祉会に移譲し平成十七年度中に改築移転計画する予定で高齢者福祉基盤の強化を図る。

**問③** 新しい青年団体活動の育成について。

**答**

社会教育の柱として青年の育成と共に、特に青年層の育成に取り組みたいと考える。



下中 雅之 議員